

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会熊本市支部

施設ナスにおける簡易生育判断手法の検討

熊本市西南地域は、耐候性ハウスを中心にナスの促成栽培が盛んに行われています。その中で、スマート農業技術の一つである複合環境制御装置についても積極的に導入されています。

しかし、装置を導入したものの、栽培経験の浅い生産者は生育状況の正しい把握が難しく、その結果、適切な環境制御設定ができずに増収に繋がっていないことがあります。そのため、当支部では、適切に生育状況进行判断するために“生育を見える化”できる手法を開発する必要があると考えています。

そこで、だれでも簡単に実施可能な手法を明らかにするため、実証展示ほを設置しました。現在、展示ほでは、判断指標と成り得る“茎の太さ”や“着果数”等の調査結果と収量性の関係を調査し、関係者で比較検討を行っています。

今後、当地域では、簡易生育診断手法に関するマニュアルを作成し、その後、環境モニタリング装置の効果的な活用方法について生産者へ情報提供を行います。



左上：モニタリング装置
左下：現地検討会の様子
右上：生育調査の様子